

高等教育活性化シリーズ 167 (通算 467 回)

2010 年 7 月 27 日 (火)

アカデミック・コミュニティの活力——
競争的研究資金の申請・獲得策とその実際

高等教育活性化シリーズ 168 (通算 468 回)

2010 年 7 月 28 日 (水)

組織力のパワーアップ——
競争的研究プロジェクトのマネジメント力

アカデミック・コミュニティの活力——
競争的研究資金の申請・獲得策とその実際

～情報収集・分析／支援・選抜体制／説得力ある調書／プレゼンの工夫～

- ※ 科研費改善の最近動向／使用ルールの見直し・繰越し／書面審査の評定基準とコメント例
- ※ [明治大] 科研費／障害と克服術／大幅増への 3 つの方策／申請調書のチェック
- ※ [大阪大] 現状分析から／強みと弱み／相談員制度／大型プロジェクト支援／業務の実際
- ※ [山形大] 科技振興調整費採択作戦／申請前に実績づくり／積算はもう一度／リハーサル、リハーサル

● 講師陣 ●

渡邊 淳平 氏 / (独)日本学術振興会 研究事業部長
小澤 芳明 氏 / 明治大学 研究推進部 研究知財事務室 事務長
鈴木 達也 氏 / 大阪大学 研究推進部長
小嶋 典夫 氏 / 山形大学 研究プロジェクト戦略室 教授

2010 年 7 月 27 日 (火) 剛堂会館 会議室 (東京・麹町)

組織力のパワーアップ——
競争的研究プロジェクトのマネジメント力

～学内・外／若手活用と研究生産力／資金管理・監査／成果活用・発信～

- ※ 科技政策と革新／民主党政権と競争的資金／成長戦略予算／事業仕分け／財政・税制改革
- ※ [社会科学系] 研究者と一体感ある支援・連携／間接経費／成果評価のポイント
- ※ 業種を超える標準 PM 技法／成功と失敗の 5 態／1 2 の成功黄金律／マネジャーの役割
- ※ [自然科学系] キー・メンバー／マネジャーの使命／研究の質評価／成果報告／積極的 P R

● 講師陣 ●

山上浩二郎 氏 / 朝日新聞社 編集委員
大堀 洋 氏 / (学)慶應義塾 研究支援センター本部 事務次長
中嶋 秀隆 氏 / プラネット(株) 代表取締役社長、慶應義塾大学非常勤講師
根本 光宏 氏 / (国)東京農工大学 学長特任補佐、教授

2010 年 7 月 28 日 (水) 剛堂会館 会議室 (東京・麹町)



[参加要領]

日時 : 高等教育活性化シリーズ 競争的研究資金の申請・獲得策とその実際
 2010年7月27日(火) 9:40~16:50
 高等教育活性化シリーズ 競争的研究プロジェクトのマネジメントカ
 2010年7月28日(水) 9:40~16:50

会場 : 剛堂会館(明治薬科大学)会議室 (東京・麹町) ※両日程、同会場です
 東京都千代田区紀尾井町3-27 TEL 03-3234-7362
 (東京メトロ有楽町線「麹町駅」1番出口から徒歩4分、JR中央・総武線「四ツ谷駅」麹町口から徒歩10分)

参加費	ご一名 (資料代を含む)	メディア参加 (資料及び音声CD送付)
高等教育活性化シリーズ167 競争的研究資金の申請・獲得策とその実際	42,000円 (消費税込)	43,000円(送料、消費税込)
高等教育活性化シリーズ168 競争的研究プロジェクトのマネジメントカ	41,000円 (消費税込)	42,000円(送料、消費税込)

※参加費の払い戻しはしませんので、申し込まれた方の都合が悪いときには代理の方がご出席ください。

申込方法 : 参加申込書に所要事項を記入のうえ FAX または Email にてご送付ください。
 受講証と会場地図を送付しますので必ずご確認ください。

支払方法 : 銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。
 みずほ銀行麹町支店 普通 1159880 三菱東京UFJ銀行神田支店 普通 5829767
 三井住友銀行麹町支店 普通 7411658 *郵便振替: 00110-8-81660
 すべての口座名 (株)地域科学研究会
 (なお、ご請求なき場合は振込受領書を領収書に代えさせていただきます)

インターネットでのご案内は⇒ <http://www.chiikikagaku-k.co.jp/> E-mail: kkj@chiikikagaku-k.co.jp

お申込み・お問合せ



地域科学研究会
 高等教育情報センター

東京都千代田区一番町6-4 ライオンズ第2-106
 TEL 03(3234)1231 FAX 03(3234)4993

キリトリ線(※参加申込みの折は必ずお送りください)

研修会参加申込書

2010年 月 日

- 高等教育活性化シリーズ167 競争的研究資金の申請・獲得策とその実際
 当日参加 メディア参加
- 高等教育活性化シリーズ168 競争的研究プロジェクトのマネジメントカ
 当日参加 メディア参加 (□に✓印を入れてください)

勤務先 _____

所在地 〒 _____

TEL _____ FAX _____ 連絡部課・担当者 _____

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

(通信欄) 支払方法(□郵便振替 □当日払い □銀行振込) 必要書類(□請求書 □見積書)

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目
9:40 ～ 11:30	<p>□ 科研費制度の改善と審査の仕組み (独)日本学術振興会 渡邊 淳平</p> <p>1. 科研費の最近の動向 (1) 予算額、応募件数の推移 (2) 研究種目の構成、制度改正 (3) 公募から審査、内定までの流れ (4) 審査制度 (二段審査制、審査体制) (5) 公正な審査を支える「学術システム研究センター」 (6) 審査委員の選考における配慮事項 (7) 科研費の改善状況 (使用ルールの見直し、繰越し)</p> <p>2. 科研費の審査の仕組み (1) 科研費ホームページでわかる情報 (2) 科研費の審査評価規定 (3) KAKEN データベース (4) 書面審査の評定基準のポイント (5) 研究計画調書の質 (6) プレゼンのポイント (7) 書面審査のコメント例</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
11:40 ～ 13:00	<p>□ [明治大] 科研費採択大幅増を目指しての取り組み ～事務局による研究支援の重要性～ 明治大学 小澤 芳明</p> <p>1. 明治大学および科研費実績の推移について (1) 明治大学の科研費実績の推移 (2) なぜ、科研費が重要なのか (3) 科研費を獲得する上での障害 (4) 事務局による支援の重要性</p> <p>2. 科研費を大幅に増やす方策 (明治大学の取り組み) (1) 3つの方策 (申請件数、採択率、1件あたり採択金額の上昇アプローチ) (2) 採択率上昇の方策 (3) 事務局内課題 (4) 教員・研究者への対応の課題 (5) その他の課題</p> <p>3. 科研費申請調書の事務局チェックポイント (1) 科研費を含む申請調書では何をアピールすべきか (2) 採択率向上のための基礎的チェックポイント</p> <p>4. まとめ</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
14:00 ～ 15:20	<p>□ [大阪大] 研究支援方策と申請・獲得の実際 ～学内情報検証/調書作成/プレゼン/成功・失敗例～ 大阪大学 鈴木 達也</p> <p>1. 申請・獲得の現状分析から (1) 申請及び採択状況の分析 (2) 支援業務・体制の検証 (3) 強みと弱み～課題と対応策</p> <p>2. 支援体制と業務の実際 (1) 科学研究費補助金の獲得支援 1) 申請奨励の取り組みとフィードバック 2) 相談員制度とその運用 (2) 大型教育研究プロジェクト支援 1) 支援室の体制と業務 2) 学内審査～プレゼン演習・ピアレビューの実際</p> <p>3. 研究成果の活用と発信</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
15:30 ～ 16:50	<p>□ [山形大] 科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」採択への道 ～先人の教えに従い、準備が大事～ 山形大学 小嶋 典夫</p> <p>1. 体制作りと先例研究 (1) 着任前の挨拶で (2) すでに動きはあった (3) 準備委員会 (4) 申請までの作戦</p> <p>2. 申請以前に実績作り (1) あちこちのセミナー回り (2) 子育て応援企業に申請 (3) 大物を呼んで盛大にシンポジウム (4) 地道にアンケート調査、学長の宣言文</p> <p>3. 申請、そして審査 (1) 船頭多くして・・・ (2) それでも出来ないこと (3) リハーサル、リハーサル (4) 積算はもう一度</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>

時間	講義項目
9:40 ～ 11:10	<input type="checkbox"/> 科学技術予算の政策動向について ～民主党政権と競争的資金～ 朝日新聞 山上浩二郎 1. 成長戦略予算の行方 (1) 期待大きい文科省 (2) 概算要求への動き 2. 大学にとっての競争的資金 (1) 科研費などの現状 (2) 法人化と研究費 3. 事業仕分けと財政・税制改革の影響 (1) 事業仕分け、独立行政法人改革による変動要因 (2) 歳入と予算編成による影響 4. 科学技術・学術研究のイノベーションに向けて (質疑応答)
11:20 ～ 12:50	<input type="checkbox"/> [社会科学系分野] 研究拠点のプロジェクトマネジメント ～研究支援の現場で働くために必要なこと 研究の質・量向上のために～ (学)慶應義塾 大堀 洋 1. 研究支援部門で働くために必要なこと (1) 研究者とのグッドコミュニケーション (2) 学事部門、法人部門との連携 (3) 機関管理のための基礎的知識のマスター (4) 「アンテナ」を張る 2. 研究支援を行なうための基本知識とその展開 (1) 機関管理とは？プラットフォームと運営の工夫 (2) 間接経費やオーバーヘッドの意味と事例 (3) 「公的研究費の管理・監査のガイドライン」の整備 (4) 外部資金獲得のための戦略の立て方 3. 「社会科学系」特有のプログラムマネジメント (1) 「全体」を運営する上での「個」の大切さ (2) 「意外性」を想定することの意義 (3) 研究者と一体感のあるサポート体制とは？ (4) 研究成果の評価のポイント (質疑応答)
13:50 ～ 15:20	<input type="checkbox"/> プロジェクトの贈り物～マネジメントの要諦 ～業種、目標を超える標準のPM技法がある～ プラネット(株) 中嶋 秀隆 1. PMの2つのライフサイクル (1) PMはなぜうまくいかないか (2) 良いライフサイクルと悪いライフサイクル (3) 学習する組織への変革とPMの成功と失敗の5態 2. PMの標準技法とその勘所 (1) PM標準10のステップ：WSBとネットワーク図など (2) PM成功の12の黄金律 (3) マネジャーの役割 3. プロジェクトの贈り物 (1) スポーツの3つの効用 (2) プロジェクトの贈り物 (3) Project is a many splendored thing. (質疑応答)
15:30 ～ 16:50	<input type="checkbox"/> [自然科学分野] 競争的研究プロジェクトのマネジメント ～次のステップを考えた早めの準備を～ (国)東京農工大学 根本 光宏 1. 申請段階までの準備 (1) 早めの情報収集 (2) キー・メンバーの確定 (3) 学部、大学本部からのコミットメントの確認 2. プロジェクトの運営 (1) 競争的資金・プロジェクトの内容、種類に応じたケア (2) リーダー・マネジャーの使命と役割 (3) キー・メンバーの支援体制、学内でのコンセンサス形成 (4) プロジェクトの進捗管理とコミュニケーション (5) 予算執行とコスト管理 (6) 研究の質のチェックと評価 (7) スポンサーとの接点の確保と報告 (8) 成果の取りまとめと報告書作成 3. 支援期間終了後の出口の模索 (1) 競争的資金・プロジェクトの目的・機能・効果の再確認 (2) 大学間の連携 (3) 成果のとりまとめ、積極的なPR活動 (質疑応答)